

インタビューしてみました！ スポットライト

畜産農家

七戸 美咲 - MISAKI SHICHINOHE -



このコーナーは深浦で頑張る若者を紹介するコーナー『スポットライト』です。

今回、インタビューしたのは畜産農家の、七戸美咲（しちのへみさき）さん。畜産農家になろうと思ったきっかけや休日の過ごし方などを取材しました。

どうして畜産農家に？

おじいちゃんの代から畜産農家で、自分も小さい時から手伝いをしていました。その流れで自然と畜産農家になりました！

結構、力仕事だったり大変なところがあると思いますが、その他、大変なことは？

生き物なので、何があるかわからないところです。牛の出産、予期しない怪我、、、そういうことがあると、友達と予定があったりしても、断らないといけません。



▲大きな牛をトラックまで誘導

仕事のやりがい？

毎日大変けども、頑張れば頑張った分、ちゃんと返ってくるところです。大きく育った子牛が競りで肥育農家さんに購入してもらえたときは嬉しいし、ホッとします(笑)

休日の過ごし方は？

子供と牛舎にいて牛に餌をあげたり、家の周りを散歩したりしています！

最後に深浦の好きなところを教えてください！

食べ物が美味しいところと、人が優しいところです！町内に同級生がたくさんいるので、コロナ禍前はたまに飲んだりしていました。とにかく友達がたくさんいて住みやすいです！

忙しい時期にもかかわらず、快く取材に応じてくれた七戸さん。

自分より大きな牛を引っ張り、トラックへ誘導する姿はとても遅しかったです！



▲トラックになかなか乗ろうとしない牛と綱引き



▲2歳になる娘さんと牛に餌やりをします

進め協力隊!!



協力隊通信 vol.7

深浦町地域おこし協力隊 浪岡 敏勇（なみおか としお）

先日初めて「タコ取り」に連れてってもらい、1匹目が何と！潮溜まりの足元でゲットと言うビックリプレミアムなスタートとなりました。終わってみると合計3タコ。来年からの楽しみがまた増えました。今回はうどん職人現役の頃、お客様によく聞かれた「なぜうどん屋さんを始めたの？」について書きます。答えは、学生時代よく通っていた食堂で、なぜかうどんしか食べてなかった事、そして青森にはうどん専門店が数店しかなかった事で「これはビジネスチャンスになる！」と思って決めてかかった事でした(笑)退職して直ぐうどんを勉強すべく、香川県にある高等技術学校で「さぬきうどん科」を探し当てました。合格すれば授業料が無料だし「これだ！」と直感しました。ここへの合格が転機となり、一気に挑戦は夢から現実に進むことになり・・・と、きっかけはこんなところですが、本当はうどん屋で無くとも、これまでの飲食業一筋23年間、自分が仕事で積み上げてきたモノの確認を、個人でしてみたかったのかも知れないと今は思っています。結果8年でお店を譲る事となるのですが、人を雇わずお客様と1対1で向き合った8年間は、思い描いていた答え合わせができ、克つ最後にお店の常連さんにお店を譲る形で終わりました。思いもよらないような最高のゴールを迎えたと感謝しています。真摯に向き合えば物事は概ね良い方向に向かうし、お客様の来店動機が、やはり必ずしも提供商品だけではない事も、身をもって知る事が出来ました。結果的にこれまでの経験を総動員し、飲食業の集大成として挑戦したのかなとも思います。成功か失敗かは最終的に自分で判断すれば良いし、どちらにしろ無駄な事では無かったと分かっただけでも意味のある挑戦でした。これから協力隊としてどんな挑戦が出来るのか、またどんな風に何へに結びついていくのか。まだ見えぬその先が楽しみです。写真は「魯山人風すきやき」と「浪岡式もつ煮込み」私、料理嫌いじゃありません。



横断幕作成者：吉井結愛（深浦中3年）

横断幕作成者：今明梨（深浦中1年）

岩崎地区ウォーキングを開催しました!!

今回は、岩崎地区において歴史探訪ウォーキングを実施しました。

陸奥岩崎駅や龍王寺、弁天島など岩崎地区の歴史や文化財などを解説付きでまわり、総距離5.4kmをウォーキングしました。

また、写真撮影で使った横断幕は、深浦中学校の職場体験学習の際に、生徒2名に作成していただいたものです。ありがとうございました。

今後も、ウォーキング事業を通じて、深浦町の文化や歴史を発信していくので、お気軽にご参加ください。

主催：教育委員会 講師：全日本ノルディックウォーク連盟 堀内 正人・木村 大希

10/15